清見寺の鐘聲

高山樗牛

青空文庫

夜半のねざめに鐘の音ひゞきぬ。おもへばわれは清見寺のふもとにさすらへる身ぞ。ゆかしの鐘の音や。

この鐘きかむとて、われ六とせの春秋をあだにくらしき。うれたくもたのしき、今のわが身かな。いざやおもひのまゝに聽きあかむ。

秋深うして萬山きばみ落つ。枕をそばだつれば野に悲しき聲す。あはれ鐘の音、わづらひの胸にもの思へとや、この世ならぬひゞきを、われいかにきくべき。怪しきかな、物おもふとしもあらなくに、いつしかわが頬に涙ながれぬ。

間どほなる鐘の音はそのはじめの響きを終りぬ。われは枕によりて消ゆるひゞきのゆくへもしらず思ひ入りぬ。

第二の鐘聲起こりぬ。夜はいよ〳〵しめやかにして、ひゞきはいよ〳〵冴えたり。山をかすめ、海をわたり、一たびは高く、一たびはひくく、絶えむとしてまたつゞき、沈まむとしてはまたうかぶ。天地の律呂か、自然の呼吸か、隱としていためるところあるが如し。想へばわづらひはわが上のみにはあらざりけるよ。あやしきかな、わが胸は鐘のひゞきと共にあへぐが如く波うちぬ。

おもひにたへで、われは戸をおしあけて磯ちかく歩みよりぬ。十日あまりの月あかき夜半なりき。三保の入江にけぶり立ち、有渡の山かげおぼろにして見えわかず、袖師、清水の長汀夢の如くかすみたり。世にもうるはしきけしきかな。われは磯邊の石に打ちよりてこしかた遠く思ひかへしぬ。

おもへば、はや六歳のむかしとなりぬ、われ身にわづらひありて、しばらく此地に客たりき。清見寺の鐘の音に送り迎へられし夕べあしたの幾そたび、三保の松原になきあかしゝ月あかき一夜は、げに見はてぬ夢の恨めしきふし多かりき。

六とせは流水の如く去りて、人は春ごとに老いぬ。清見潟の風光むかしながらにして幾度となく夜半の夢に入れど、身世怱忙として俄に風騒の客たり難し。われ常にこれを恨みとしき。

この恨み、果さるべき日は遂に來りぬ。こぞの秋、われ思はずも病にかゝりて東海のほとりにさすらひ、こゝに身を清見潟の山水に寄せて、晴夜の鐘に多年のおもひをのべむとす。ああ思ひきや、西土はるかに征くべかりし身の、こゝに病躯を故山にとゞめて山河の契りをはたさむとは。奇しくもあざなはれたるわが運命かな。

鐘の音はわがおもひを追うて幾たびかひゞきぬ。

うるはしきかな、山や水や、僞りなく、そねみなく、憎みなく、爭ひなし。人は生死のちまたに迷ひ、世は興亡のわだちを廻る。山や、水や、かはるところなきなり。おもへば恥かしきわが身かな。こゝに恨みある身の病を養へばとて、千年の齡、もとより保つべくもあらず、やがて哀れは夢のたゞちに消えて知る人もなき枯骨となりはてなむず。われは薄倖兒、數ならぬ身の世にながらへてまた何の爲すところぞ。さるに、をしむまじき命のなほ捨てがてに、ここに漂浪の旦暮をかさぬるこそ、おろかにもまた哀れならずや。

鐘の音はまたいくたびかひゞきわたりぬ。わがおもひいよ〳〵深うなりつ。

夜はいたく更けぬ。山と水と寂寞として地に横はり、星と月と寂寞として天にかゝれり。うるはしの極はみかな。願はくは月よ傾かざれ、星よ沈まざれ、永久の夜の、この世の聲色を掩ひつゝめよかし。されどわれには祷るべき言葉なかりき。

最後の鐘聲おこりぬ。餘音とほくわたりて、到るところに咏嘆の

ひゞきをとゞめぬ。うれしの鐘の音や、人間の言の葉に上(のぼ)りがたきわがいくそのおもひ、この鐘ならで誰か言ひとかむ。

年を越えてわれ都にかへりぬ。わが思ひまた胸にむすぼれつ。夜半のねざめに清見寺の鐘聲またきくべからず。われは今に於ても幾たびか思ひぬ。唱一語(しやういちご)以てわがこの思ひを言ひあらはさむすべもがな。かくて月あかき一夜、海風(かいふう)に向ひて長く嘯(うそぶ)かなむ。わが胸のいかばかり輕(かる)かるべき。

（明治三十四年五月）

青空文庫情報

底本：「現代日本文學全集　第十三篇」改造社
　　1928（昭和3）年12月1日発行
※底本は総ルビですが、読みやすさを考慮して振り仮名の一部を省きました。
入力：三州生桑
校正：今井忠夫
2003年12月15日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

清見寺の鐘聲

高山樗牛

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/